

きずな

小牧市民病院の理念

- 1 安全で質の高い急性期医療を行います
- 2 怒(じょ)の心で患者さんに寄り添う病院を目指します
- 3 医療を通じて、安心して暮らせる地域の実現に貢献します



キミと一緒に、生きていきたい。
Komaki

特集 左心耳閉鎖デバイスについて

- 【健康教室】** 腸閉塞について
- 【各課だより】** 生化学 免疫検査室
- 【職場紹介】** 臨床工学科
- 【意見箱から】** 聴診時の服装について

お知らせ

- 病院案内図
- 外来案内

過去の「きずな」はコチラ



左心耳閉鎖デバイスについて ～新たな心房細動治療の選択肢～

心房細動と脳卒中はどのように関係しているの？

心房細動に対し適切に対処しないと、正常な心調律の人に比べて脳卒中のリスクが高くなることがわかっています。

- 心房細動患者さんの約3分の1が脳卒中を発症することが報告されています
- 心房細動による脳卒中によって、死亡や後遺障害を引き起こす確率が高くなることが報告されています
- 非弁膜症性心房細動では、左心房の中の左心耳に血液が滞留してできる血栓が脳卒中の主な原因と考えられています



エコー画像での左心耳内の血栓

WATCHMAN FLX™Pro 左心耳閉鎖デバイスとは？

WATCHMAN 左心耳閉鎖（以下LAAC: Left Atrial Appendage Closure）システムは医師が抗凝固薬服用可能と判断し、かつ代替療法に切り替える妥当な理由がある患者さんを対象とした、抗凝固薬からの代替療法です。WATCHMANを心臓の左心耳に留置することで永久に閉鎖し、血栓が遊離するのを防ぎます。非弁膜症性心房細動の患者さんでは、心臓に起因する脳卒中を生じさせる血栓の90%以上が左心耳から発生していることから、左

心耳を閉鎖することで脳卒中リスクを減らします。また、抗凝固薬服用を中止できる可能性もあります。

左心耳閉鎖（LAAC）の 対象の患者さんについて

心房細動の塞栓症予防のための抗凝固療法は、長期的な出血リスクや薬物相互作用の問題が伴うため、特に高齢者や出血リスクが高い患者さんにとっては難点が多く、LAACはそのような患者さんに対する代替策として注目されています。

特に、以下のような患者さんに対しては、LAACが有効な選択肢となります。

- 長期的な抗凝固療法が困難な患者さん
- 出血リスクが高く、抗凝固療法の継続に不安を感じている患者さん
- 消化管出血、脳出血など出血の既往がある患者さん

実際の手技について

手術前に経食道心エコー検査や造影CTなどで左心耳の形態や血栓の有無などを評価します。LAACは、カテーテルを用いて行われる低侵襲の手技で、全身麻酔下で実施されます。手技は、まず大腿静脈からカテーテルを挿入し心房中隔を穿刺して左心房に到達し、経食道エコーを用いて左心耳を確認しながらデバイスを配置することから始まります。デバイスは左心耳の入口を塞ぐように配置されます。その後、時間の経過とともにデバイスを覆うように内皮化が進み、左心耳を閉鎖します。およそ1～2時間で手技は終了し、3泊4日の入院です。

術後は一時的に抗血小板療法を併用する場合もあ



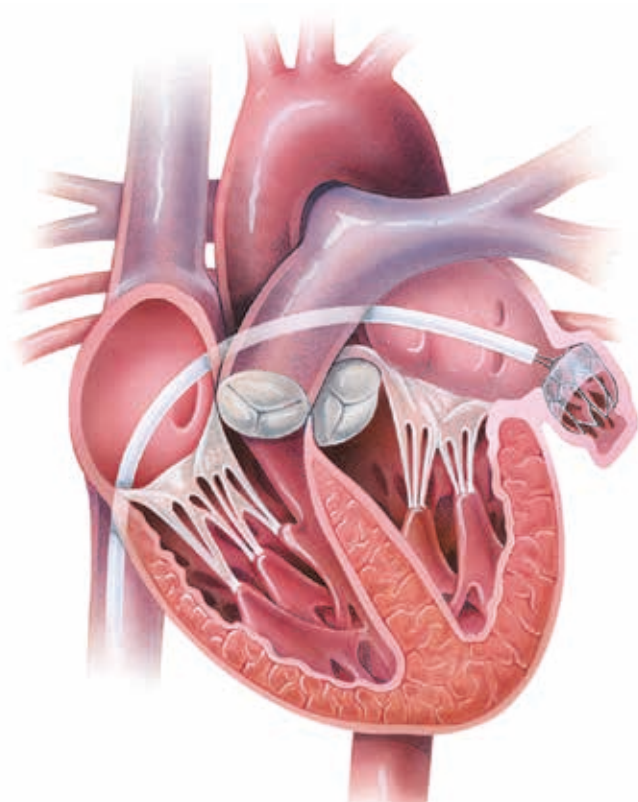
WATCHMAN

りますが、一定期間後には中止が可能となります。
また、デバイスの位置や機能を確認するための定期的な画像診断（経食道エコーや造影CT）を行います。
これにより、デバイスの適切な位置維持や血栓形成の有無を監視し、必要に応じた追加の治療を検討します。

手術においては、循環器内科医や心臓血管外科医、麻酔科医、さらに心臓超音波専門医など、多職種のチームが連携して総合的に評価した上で行っております。

左心耳閉鎖術は、抗凝固療法が困難な心房細動患者さんにおける脳梗塞予防の一助となる重要な治療法です。特に、高齢者や出血リスクの高い患者さんには有効な選択肢と考えられます。

また当院では、心房細動患者さんに対する最適な治療法を選択し、より良い生活の質を維持するために尽力いたしますので、お気軽に相談いただければと思います。



WATCHMANを用いた左心耳閉鎖術



はじめに

腸閉塞とは、何らかの原因で消化管の閉塞が起こり、腹部膨満、腹痛、悪心、嘔吐、排ガスや排便の停止といった症状をきたします。「イレウス」とも呼ばれます。小腸、大腸どちらにも起こる可能性があります。閉塞が解除されないと脱水や感染を引き起こし、腸が破れると腹膜炎を起こす危険があります。

原因

小腸の腸閉塞は、以前に受けたお腹の手術の影響で生じた癒着（ゆちゃく）によるものが一般的です。お腹の手術を一度も受けたことがない方では、すき間に腸がはまりこむ（ヘルニア）が原因であることが多いです。鼠径ヘルニア（いわゆる脱腸）、腹壁や骨盤のヘルニア、腸間膜のヘルニアなどがあります。

大腸の腸閉塞は、腫瘍、特に大腸がんによるものが多いです。その他に、便秘症による宿便、憩室炎も原因となります。

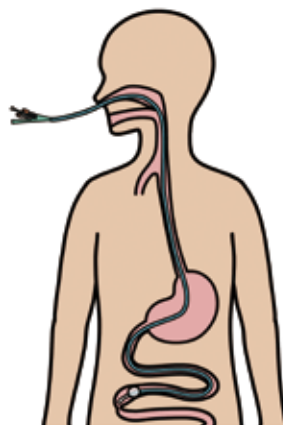
治療

入院の上で絶食、点滴が必要です。原因によって治療法が異なります。

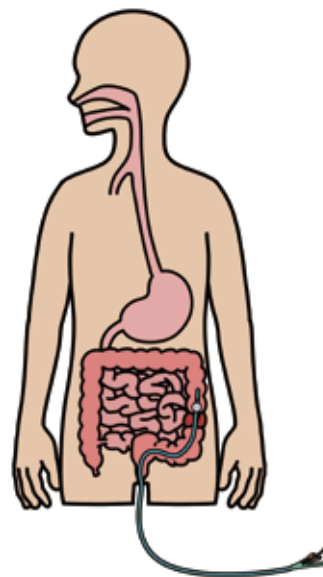
①癒着が原因の場合、腸を安静にすることで解除されることが多いです。鼻から管を入れて減圧する治療も有効です。数日経っても治らない場合は手術が必要です。

②ヘルニアが原因の場合、はまりこんでいる腸を元に戻さなければなりません。戻せない場合は緊急手術となります。長時間はまり込んでいたことで腸の状態が悪くなっている場合は、腸切除が必要となります。

③腫瘍が原因の場合、閉塞の場所によって、鼻から腸まで管を入れる、肛門から狭い部分にチューブあるいはステント（金属の網）を入れる、といった減圧処置を行います。緊急手術で人工肛門（ストーマ）を作る場合もあります。



経鼻イレウスチューブ



経肛門イレウスチューブ

おわりに

腸閉塞の原因は様々ですが、外来で行う画像検査で診断可能です。時間が経過すると状態が悪くなってしまうので、普段とは違う腹痛がある場合は、我慢せず受診するようにして下さい。

生化学検査とは？

生化学検査は患者さんの血液や尿、体腔液(胸水・腹水)を科学的に分析し、健康状態や病気の程度を調べるものです。肝臓や膵臓といった臓器が障害を受けると、細胞が破壊されて臓器特有の“物質”が血液や尿中に流出し、基準値を超えてきます。またその臓器で作られていた“物質”が作られなくなると基準値を下回ります。これらの“物質”を測定することで、どの臓器が障害を受けているかを推察することができます。

免疫検査とは？

免疫検査は抗原抗体反応を利用した試薬を用いて患者さんの血液を分析し、B型肝炎やC型肝炎といった感染症検査、腫瘍細胞が分泌する腫瘍マーカー(CEA・CA19-9など)の測定を行っています。生化学検査と同じように肝炎ウイルスを示す“物質”や腫瘍細胞が産生する“物質”を測定することでどのような病気がどの程度の状態であるかを推察することができます。

代表的な生化学・免疫検査項目

【生化学検査】

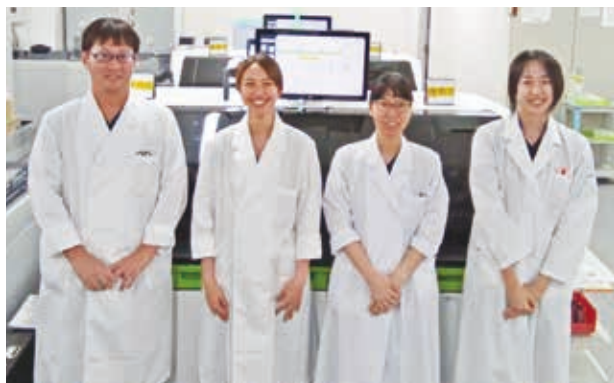
- ▶ 総蛋白・アルブミン (栄養関連)
- ▶ AST・ALT・ γ -GTP・ALP・LD・AMY (肝臓・胆道・膵臓関連)
- ▶ 尿素窒素・クレアチニン (腎機能関連)
- ▶ コレステロール・中性脂肪・HDL・LDL (脂質関連)

【免疫検査】

- ▶ HBs抗原・HCV抗体・HIV検査 (感染症)
- ▶ CEA・CA19-9・PSA (腫瘍マーカー)
- ▶ TSH・FT3・FT4 (甲状腺ホルモン)

患者さんをお待たせしないように

生化学・免疫検査室では1日約700検体、約7,000項目の検査を行っていますが、迅速かつ正確に検査結果を出せるよう、最新の搬送システム・自動分析装置を導入しています。また、検査の遅延がないかを監視するモニターを設置し、患者さんの待ち時間短縮に努めています。



生化学メンバー：生化学・免疫検査室のメンバーです



生化学自動分析装置：1時間に2400項目測定できる分析装置です。2台で生化学の検査を行っています。



搬送システム：検体をどの分析装置で測定するかを判断し、分析装置まで運んでくれます。

臨床工学技士とは

臨床工学技士はCE（Clinical Engineer）とよばれ、1988年4月に国家資格として誕生しました。人の呼吸・循環・代謝等の生命維持に繋がる機能を代行する装置（生命維持管理装置）の保守点検や医師の指示のもとこれらの機器の操作を行うことを主な業務としています。

いのちのエンジニア臨床工学技士

医療機器は医療に欠かせない存在であり、院内のあらゆる場所で数多く使用されています。臨床工学技士は日々複雑多様化する医療技術に対応し安全で安心な医療技術の提供に日々努め、医療機器のスペシャリスト（いのちのエンジニア）として貢献しています。

臨床工学技士の業務

おもな活動場所は医療機器点検室、血液浄化センター、手術室、ICU、血管造影センター等です。

医療機器点検室では院内の医療機器を一括管理し、常に安全な状態で使用出来るよう保守点検、修理を行っています。



血液浄化センターでは血液透析における穿刺や管理、機器操作等を行っています。特殊血液浄化も行っています。

手術室では心臓血管外科手術での人工心肺装置の操作、ロボット支援下手術（ダヴィンチ）、医療機器の保守点検等様々な業務があります。



血管造影センターでは昨今コロナ禍で紹介されているECMOやその他補助循環、不整脈手術であるアブレーション手術に携わっています。植え込み型心臓デバイス（ペースメーカーやICD）等の管理にも従事しています。



臨床工学科には20名在籍しています。業務内容が多岐にわたる中で様々な診療科の医師・看護師・コメディカル・事務職員等と協力し、よりよい医療を提供できるよう日々の業務に取り組んでいます。臨床工学科を今後ともよろしくお願いいたします。

当院では、意見箱を設置し、来院者の方からのご意見、ご要望に対してできる限りお応えできるよう努めています。ここでは、お寄せいただいたご意見、ご要望の一部を紹介させていただきます。

《いただいたご意見》

できれば聴診の時だけ下着をつけさせてほしいです。他の検査ではとてもご配慮いただいてすばらしいと感謝しておりますが、聴診の際、健診着を上げるのが恥ずかしいです。



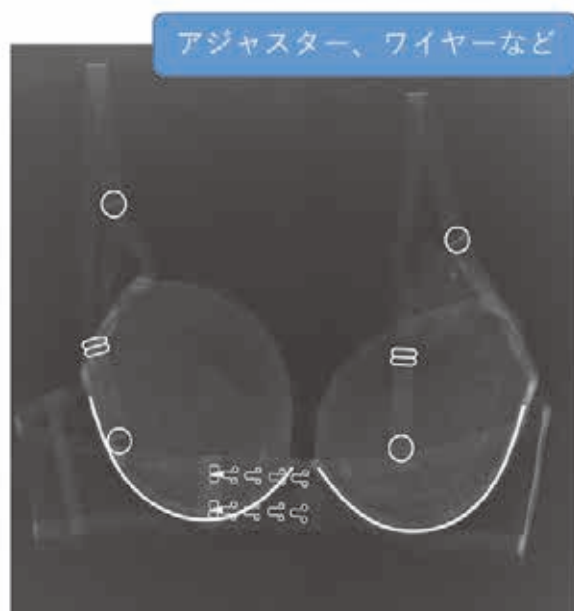
《ご意見に対するお答え》

健診センター

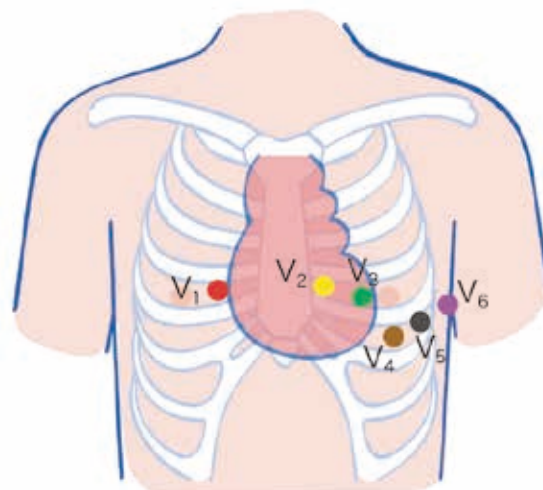
この度は、聴診時に不快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。

聴診時には健診着を上げないようにしておりますが、より正確に聴診するため、健診着を上げていただくようお願いする場合がございます。人間ドック受診時に上半身を健診着のみとさせていただくのは、①胸部・胃部X線撮影の画像に下着が映り込んでしまう可能性があること、②心電図検査で機器の装着に支障があり、正しく測定できないおそれがあること、③内科診察においても聴診による診断を正確に行うためです。聴診をする時のみ、聴診の前後に更衣室へお戻りいただき、下着を着用することができますので、お近くの職員へご相談ください。なお、スポーツブラをはじめとする胸全体を覆うタイプの下着は聴診には適していませんので、ご理解とご協力をお願いいたします。

胸部・胃部X線撮影画像
(下着をしている場合)

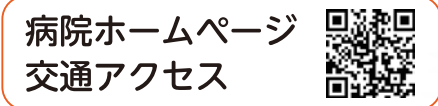


心電図検査における機器装着位置



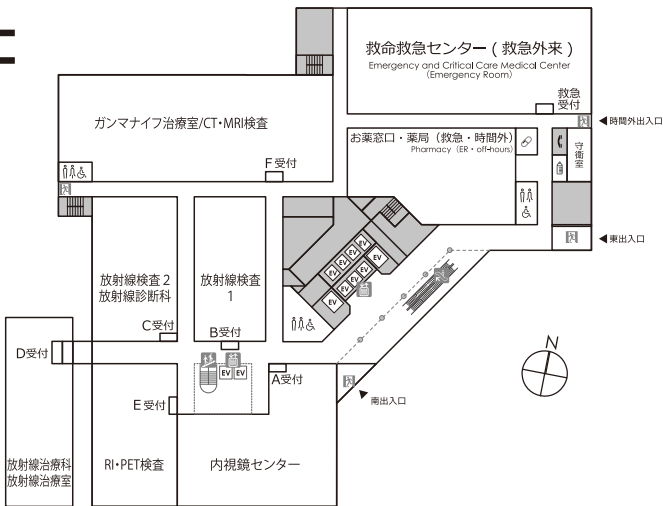
市民病院案内図

病院ホームページ
交通アクセス



外来案内

1 F



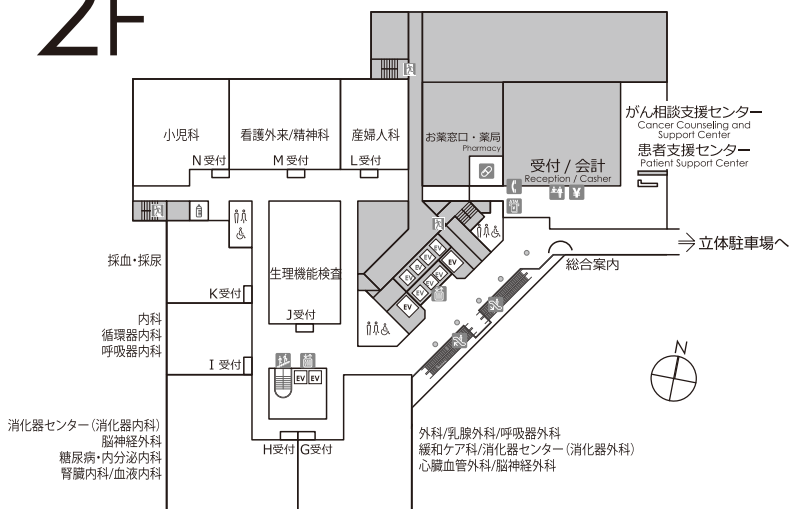
〈診療受付時間〉
午前8時30分～午前11時30分

〈診療時間〉
午前9時～午後5時

〈休診日〉
土曜・日曜・祝日・年末年始

※休診日でも急患の方は、
救命救急センターで随時診療

2F



3F

